

骨密度測ってみませんか？

市では、骨粗しょう症予防検診を行っています。超音波による骨密度の測定後、その結果に応じたアドバイス、必要により栄養指導、受診勧奨などを行います。

●骨粗しょう症ってどんな病気？

骨が弱くなり、つまずいたりくしゃみをするなど、わずかな衝撃で骨折しやすくなる病気です。

骨折が起きやすい部分は背骨、手首、脚の付け根です。骨折をしても痛みを感じないこともあります。放置しておくと4人に1人は1年以内に次の骨折を連鎖して起こすといわれ、高齢者が寝たきりになる原因の一つとなっています。



▲健康な骨

骨がスカスカに！

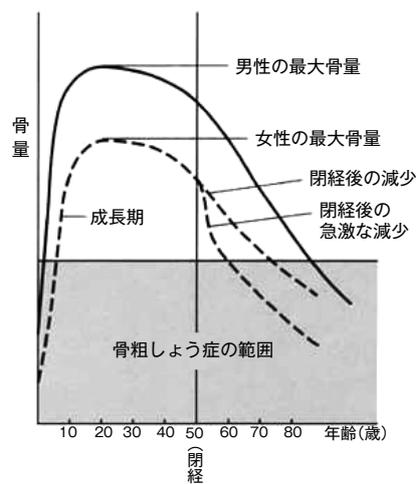


▲骨粗しょう症の骨

●骨量は年々減少していきます

右のグラフを見ると、男性も女性も骨量は年々減少していくことがわかります。特に女性の骨量は男性に比べ低く、また閉経後の数年間は急激に骨量が減少します。これは、骨形成を進める女性ホルモンの分泌が激減するためです。

定期的に検診を受け、自分の骨量を知ることが大切です。



●骨粗しょう症予防検診を受けましょう

- ◆日程 9月29日☉・30日☉
(受付時間 午前の部：9時～10時30分、午後の部：13時30分～15時)
- ◆会場 保健センター
- ◆定員 各部100人(申込順)
- ◆対象者 令和2年4月1日現在で
18～35・40・45・50・55・60・65・70歳の女性
- ◆検査方法 超音波によるかかとの骨量測定(妊娠中も可)
- ◆自己負担額 500円



※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により延期または中止となる場合があります。

申込み・問合せ 健康管理課 (2階) ☎(20)1574、FAX (20)1600
保健センター ☎(25)1725、FAX (25)1865